

町田市立図書館メールマガジン（2026年9月1日号）

みなさまこんにちは、町田市立図書館です。
メールマガジンを配信します。

新着図書案内・今月の1冊

『デジタル時代の妖怪学』
(388.1-カ・渡部瑞希・笠間書院)

デジタル社会と妖怪。一見相容れないように思える両者は、実は深く結びついている。本書は、妖怪や怪異がかつての昔話や民間伝承の中に留まるものではなく、現代のデジタル社会においても形を変えて息づいていることを描き出している。

妖怪は本来「不可視」で得体の知れない存在である。人はそうした存在に名前や具体的な姿を与えて「可視化」することで、漠然とした恐怖や不安を理解可能なものへと変えてきた。一方で、実在しないはずの妖怪の「可視化」は、曖昧だった彼らに現実感を与え、我々にその存在を強く感じさせることにもつながる。つまり妖怪の「可視化」とは、未知への恐怖を和らげる営みであると同時に、妖怪そのもののリアリティを補強する行為でもあるのだ。

本書ではこうした「可視化」をテーマに、複数の分野の研究者が、人間と妖怪の関係や変遷、海外から見た妖怪の魅力、インターネット上の怪談や恐怖画像、さらにはウイルスと妖怪の関係まで、幅広く論じている。

かつて絵や物語が妖怪に姿を与えてきたように、現代ではスマートフォンやSNS、映像技術などが、新たな形で怪異をより鮮明に「可視化」している。科学技術の発展は、妖怪や怪異を非科学的なものとして遠ざける一方で、それらに新たな存在感を与える装置としても機能しているのだ。この逆説的な関係性を、デジタル社会という鏡を通して読み解ける点が、本書の大きな魅力である。妖怪という存在そのものを改めて問い直したい人にとって、うってつけの一冊と言えるだろう。

新着図書案内・新刊リスト

- (1) 010.2/7/・図書館と戦争と民主主義の百年・渡邊 重夫／著・青弓社
- (2) 022/ニ/・本ってだいたいこうなってますよね？・西岡 裕二／著・技術評論社
- (3) 182.1/ウ/・古代・中世の温泉・牛山 佳幸／著・法蔵館
- (4) 210.46/シ/・室町「下剋上」サバイバル・清水 克行／著・文藝春秋
- (5) 334.3/ヨ/・日本人全員が佐藤さんになる日・吉田 浩／著・朝日新聞出版
- (6) 383.8/イ/・チャーハンという迷宮・石田 かおる／著・NHK出版
- (7) 391/ヤ/・戦争を甘く見る空気・山崎 雅弘／著・朝日新聞出版
- (8) 486.1/7/・昆虫はなぜ海にいないのか・朝野 維起／著・筑摩書房
- (9) 489.9/ク/・なぜヒトだけが「寝かしつけ」をするのか？・久世 濃子／著・WAVE出版
- (10) 493.76/テ/・あなたの隣のサイコパスな人・リアン・テン・ブリンク／著・朝日新聞出版
- (11) 588.5/ナ/・THE Sherry・Kohya Nakase／著・リベラル社
- (12) 611.7/ナ/・おせっかいなイタリアの社会的農業・中野 美季／著・農山漁村文化協会
- (13) 689.5/ミ/・あこのろの遊園地マップ図鑑・369days／著・三オブックス
- (14) 709/タ/・アートの仕事地図・高山 健太郎／著・クロスメディア・パブリッシング
- (15) 760.6/ミ/・ライブハウス・スタディーズ・宮入 恭平／編・ナカニシヤ出版

- (16) 778. 2/㇏/・映画パンフ大百科・映画パンフは宇宙だ！／著・集英社インターナショナル
- (17) 786. 1/㇏/・低山遭難・羽根田 治／著・東洋経済新報社
- (18) 814. 7/㇏/・外国語っぽい日本語辞典・米川 明彦／編著・東京堂出版
- (19) 902. 3/㇏/・しんどい日常を生き抜くための文学・小林 真大／著・雷鳥社
- (20) 983//・厳選中世ロシア奇譚集・三浦 清美／訳・解説・松籟社

=====

町田市立図書館

ホームページ：<https://www.library-machida.tokyo.jp/>

X：https://x.com/machida_library

◆メールマガジンのバックナンバーは、町田市立図書館ホームページからご覧いただけます。

◆メールマガジンの配信停止、メールアドレスの変更等は、町田市立図書館のホームページからお手続きください。

=====

2026年9月1日発行